

議事録

会議名	令和3年度 第1回 稲城市地域公共交通会議
開催日時	令和3年7月21日(水) (書面開催)
出席者及び 欠席者	<p>(委員)</p> <p>鈴木文彦会長、二見信義副会長、米澤暁裕委員、小泉裕樹委員、早田俊介委員、佐藤勝太委員、板垣洋介委員、藤原廣彦委員、進藤直人委員、中川利昭委員、高宮久美子委員、城所正男委員、増田幸雄委員、山口真理委員、青木秀二委員、後藤田英俊委員、宮向康世委員、牛尾陽一委員、堀田耕一郎委員、平野学委員、小泉伸介委員、中田薫委員、吉野茂委員、山田弘委員、大塚広満委員</p> <p>(事務局)</p> <p>都市建設部長 久家 管理課長 浜中 管理課交通対策係長 森田 管理課交通安全担当係長 高瀬 管理課交通対策係副係長 城所</p> <p>(欠席者)</p> <p>なし</p>
会議次第	<p>1 議 題</p> <p>(1)令和2年度 i バス乗車実績について…資料1 (2)小規模コミュニティ交通について…資料2</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) i バスD・Eコースのダイヤ変更について…資料3 (2)オリンピック自転車ロードレース開催時の交通規制に伴うバス運行について…資料4</p>

1. 議 題

(1) 令和2年度 i バス乗車実績について

委員 新型コロナ問題により、i バスの乗車人員減は止むを得ない状況だが、運行補助金を出し続ける方策が得策ではない。堂々と料金設定の見直しを進めた方が良い。

委員 市民代表者合同検討会でも申し上げたとおり、導入時の目安は、歳出1億円以下と1便当たり20名以上の乗車と聞いている。現在も変更がないなら、報告時にその旨の報告(項目)が必要。

また、便により非常に少ない人数の場合には何らかの対策を取る必要があると思う。いくつかの項目(人数、時間帯利用、天候等)の数値を常に把握するなど、異常値がある場合には、その旨の分析が必要と感じる。

委員 効率を考え、減便ありかと思うが、通常運行を続けた事は評価する。

委員 引き続き、地域の足としての役割を果たしていく。

委員 コロナ禍が終息した後、あらためて実績調査を実施して状況を把握するべき。

委員 コロナ禍が終了すれば、バス利用者も回復すると思うので、当面赤字額が大きくても、減便しないのが良い。いったん減便すれば、他の手段へ移る人が出て、その後ダイヤを戻しても、乗客が戻らない可能性がある。

結果

承認する…25人 承認しない…0人

以上により、iバス乗車実績につきましては承認されました。今後、ご意見も参考にしながら、今後の運行に生かして参ります。

(2) 小規模コミュニティ交通について

委員 実証実験の実施を是非お願い致したい。

委員 実証実験がスムーズに進み、交通不便地域に住んでいる方々の利便性が向上することを願う。

委員 利用の注意で、「マスク着用や体調不良時は…」とあるが、「マスク着用し」ではないか。

事務局 チラシには、マスク着用をしていただく旨明記する。

委員 実証実験以降、今後の各地で取り入れられているオンデマンド方式の導入も選択肢のひとつに加えてほしい。

委員 コミュニティバスとiバスとの乗り継ぎの効果は如何か。

委員 iバスの新たな需要発掘となるよう、期待している。

委員 利用状況により廃止するか、さらに大型車両による運行にするかを見極める。ただし、一部地域での無償運行は不公平感がある為、対応を検討する。

結果

承認する…25人 承認しない…0人

以上により、小規模コミュニティ交通については承認されました。今後、地元町会や運行事業者様と調整し、実証実験を行ってまいります。

2. 報告事項

(1) iバスD・Eコースのダイヤ変更について

(意見なし)

(2) オリンピック自転車ロードレース開催時の交通規制に伴うバス運行について

委員 オリンピックの自転車ロードレース開催中の運行は止むを得ない。

3. その他

委員 京王よみうりランド←→南山・稲城駅、というルートは出来ないか。

事務局 バス事業者検討会において、路線バスの運行を要請している。

委員 南山の運行ルート計画と、D・Eコースとの組み合わせ運行計画はあるのか。

事務局 iバスの今後のルートについては、今後本会議で検討していく。

委員 南山開発の進展に伴い、新規転入者が増加している。特に現在造成中の奥エリアは駅からも遠く住民の交通の便について計画的に対応するよう希望する。

事務局 バス事業者検討会において、路線バスの運行を要請している。また、iバスの今後のルートについては、今後本会議で検討していく。

以上